

第6回定例研究会

パリ神話の光と影

第6回定例研究会は、恵泉女学園大学人間社会学部国際社会学科准教授の荒又美陽先生をお招きして、「パリ神話の光と影」というテーマで講演いただきました。

【講師プロフィール】

1973年北海道生まれ。1996年一橋大学社会学部卒業後、住宅金融公庫勤務を経て、2002年一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了、2004年フランス社会科学高等研究院 DEA 課程修了。2009年一橋大学にて博士（社会学）取得。2005年より、恵泉女学園大学人間社会学部国際社会 専任講師（特任）、助教（専任）を経て、現職。

フランスの都市計画事業を主な事例として、人文地理学の立場から、社会が都市景観に投影する理念とそれに伴う物理的・社会的排除の構造を明らかにしようとしている。

著作に『パリ神話と都市景観－マレ保全地区をめぐる浄化と排除の論理』（明石書店 2011）、共著として『世界地誌シリーズ 3 EU』（加賀美雅弘編、朝倉書房 2011）などほか多数。

講師

荒又 美陽 氏（恵泉女学園大学人間社会学部国際社会学科 准教授）

テーマ

パリ神話の光と影

講演日

2013年2月16日（土）14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

